

株式についてのご案内	お知らせ	
事業年度 4月1日～翌年3月31日	株式に関する各種お手続きについて	
期末配当金 受領株主確定日 3月31日	●特別口座に記録された株式	
中間配当金 受領株主確定日 9月30日	お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
定時株主総会 毎年6月	<ul style="list-style-type: none"> 特別口座から一般口座への振替請求 単元未満株式の買取（買増）請求 住所・氏名等のご変更 特別口座の残高照会 配当金の受領方法の指定（*） 	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL:0120-232-711（通話料無料）
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社	特別口座 口座管理機関	[手続き書類のご請求方法] ●音声自動応答電話によるご請求 TEL:0120-244-479（通話料無料） ●インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社	株主名簿 管理人	
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL:0120-232-711 （通話料無料）	（*）特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はご選べない場合があります。	
上場取引所 東京証券取引所 市場第一部	●証券会社等の口座に記録された株式	
公告掲載URL http://www.taiyo-hd.co.jp （ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に公告いたします。）	お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
	<ul style="list-style-type: none"> 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL:0120-232-711（通話料無料）
	●配当金計算書について	
	同封いたしております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねております。配当金をお受取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。 なお、配当金を証券口座でお受取り（株式数比例配分方式）の株主様は、お取引のある証券会社へご確認ください。	
	上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

TAIYO HOLDINGS REPORT 2016

決算のご報告

平成27年4月1日～平成28年3月31日

第70期



株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施しております。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4626

いいかぶ 検索 

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。
ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を贈呈させていただきます

※本アンケートは、株式会社 a2media（エー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
（株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。
●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL:03-5777-3900（平日 10:00～17:30）MAIL:info@e-kabunushi.com



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

太陽ホールディングスの

経営理念 と 経営基本方針

経営理念

我がグループの「あらゆる技術」を高め、革新的な製品をもって、夢あるさまざまなモノをグローバルに生み出し、楽しい社会を実現します。

経営基本方針

- 1 我がグループは利益を生み出し企業価値を高めることで、お客様・地域社会・株主及び従業員の幸福と繁栄に寄与します。
- 2 我がグループは経営理念の達成にあたり法令遵守、環境保護、品質管理の徹底、社会貢献を含め企業の社会的責任を全うします。
- 3 我がグループはグローバル体制を活用し、常に優れた製品とサービスの提供を行います。
- 4 我がグループは常に従業員が挑戦し成長できる機会を生み出し、自ら目標を立て、その実現に向けて高い志を持つ集団を目指します。
- 5 我がグループは「スピード&コミュニケーション」をキーワードに、グループ内各社の連携と全員のチームワークを活性化することで、企業総合力を高めます。
- 6 我がグループは絶えず技術革新に努め、新製品や新事業を創造することで、楽しい社会の実現に貢献できるグローバル企業を目指します。

トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第70期における世界経済は、米国経済に低失業率の維持や個人消費の増加による緩やかな景気回復がみられ、欧州経済においても回復基調が続いています。一方、中国経済は引き続き減速傾向に歯止めはかからず内外需とも弱まるなか、企業の生産活動にも減速がみられました。日本経済においては個人消費に弱みがみられる等、景気回復の動きに足踏み感がみられました。

このような状況の下、第70期の当社グループの業績は、リジッド基板用部材の販売数量は前期を下回りましたが、高機能品の堅調な販売や為替が円安に推移した影響もあり、前期と比べ増収・増益となりました。

なお、第70期の期末配当金につきましては、従前の発表どおり1株当たり55円とさせていただきます。これにより、当期の年間配当金は、先に実施しました中間配当金55円を含め、1株につき110円となり、前期と比べ年間20円の増配となります。また、次期の配当金につきましては、中間配当金、期末配当金ともに1株当たり55円、合わせて1株当たり年間110円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成28年6月



代表取締役社長 佐藤 英志

TAIYOの主力製品の特徴

ソルダーレジストの役割

スマートフォンなどのデジタル家電や、車載電子機器などのエレクトロニクス製品にはプリント配線板が用いられています。当社グループの主力製品であるソルダーレジストは、このプリント配線板の回路表面を覆うことで外部環境から保護し、長期間の安定した使用を可能にします。

1 不要部分へのはんだの付着防止

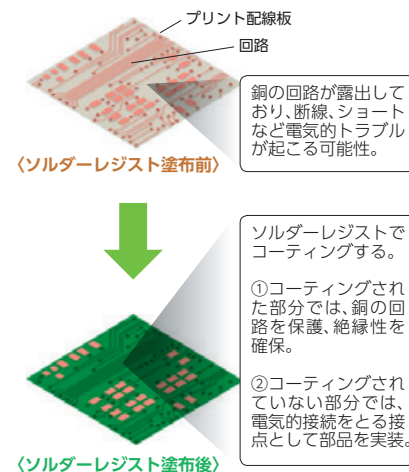
プリント配線板に各種の部品が実装される際に、電気的接続をとる接点以外にはんだが付着しショートを起こすのを防止する役割があります。

2 ほこり、熱、湿気などから回路を保護

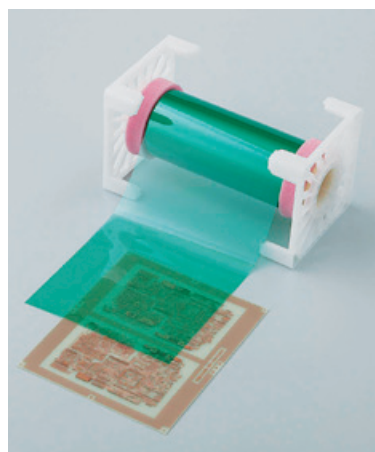
ほこり、熱、湿気などの外部環境から回路を保護します。これによって電子機器は長期にわたり安定した動作が可能になります。

3 回路間の電気絶縁性の維持

電子機器の小型化に伴い、一般基板の回路の幅は50~150 μ m程度、半導体パッケージ用基板では更に細線化しています。ソルダーレジストは回路間の絶縁性を維持し、ショートを防止します。



ドライフィルム型ソルダーレジスト



半導体パッケージ用基板や、高い信頼性が求められる車載用の一部の電子機器用プリント配線板に使用されます。半導体の発する高温に長期間耐え、品質劣化が起きにくいことや反りが少ないなどの特徴があります。

また、ソルダーレジストの厚みのバラつきによる半導体の実装への影響をおさえるため、あらかじめフィルム状に加工し厚みを均一にしています。

特徴

- ・表面平滑性に優れている(凸凹が少ない)
- ・含有溶剤が少ないため、顧客での使用環境に優しい
- ・回路間の気泡が少ないため品質が向上する
- ・使用時の工程が少ないため生産性が良い

主な用途



TAIYOのQ&A

Q 太陽HDグループはどんなインキを扱っているのですか？

One Point

当社グループの**関連市場は電子部品業界**となります。

一般的な印刷用のインキやペイント用のインキではありません。
当社グループでは電子機器の心臓部の1つである**プリント配線板を保護するインキ**を扱っており、そのインキを**ソルダーレジスト**といいます。

Q ソルダーレジストはどのような電子機器に使用されていますか？

One Point

当社グループのソルダーレジストは**世界シェア約60%**を占めていますので、**世界中で欠かせない製品**といえます。

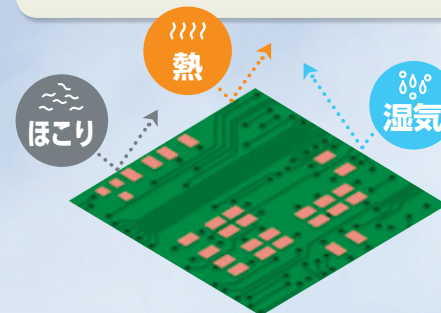
世界シェア
60%

ソルダーレジストで保護されたプリント配線板は、スマートフォンなどのデジタル家電や車載電子機器など世の中の**あらゆる電子機器**に使用されています。

Q ソルダーレジストはなぜ必要なのですか？ソルダーレジストを使用しないとどうなりますか？

One Point

当社グループのソルダーレジストはあらゆる**電子機器が正常に安定して機能するために必要な製品**です。また、**電子機器の性能向上にはソルダーレジストの技術革新が必要**であり、トップメーカーである当社グループにとっての責務です。



ソルダーレジストを使用しないと、ショートを起こすなど電子機器本体の**故障の原因**となります。ソルダーレジストは耐熱性や耐薬品性に優れており、プリント配線板をほこりや熱、湿気から保護しています。また、電気的なトラブルを防ぐ絶縁体としての役割を果たしています。

水上太陽光発電事業

～エネルギーの消費者から生産者へ～

「嵐山水上太陽光発電所」開所

当社グループでは「エネルギーの消費者から生産者へ」をめざす新たな取り組みの一環として、2015年10月に嵐山水上太陽光発電所を開所し、「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」による発電を開始しました。

温室効果ガスの削減や自然環境にも配慮したこの活動の普及促進を通じて、企業の社会的責任を果たしてまいります。

嵐山水上太陽光発電所の概要

所在地: 埼玉県比企郡嵐山町花見台1-1第3調整池

設置面積: 約13,300㎡

出力規模: 1,153kW

パネル枚数: 4,522枚

【環境に対する効果】

発電量: 約370世帯分

CO₂削減量: 約400トン/年

パネル設置工法: 池底アンカー方式(自然環境や景観を損なうことが少ない)



嵐山水上太陽光発電所の特徴

当発電所の最大の特徴は、水面に太陽光パネルを設置して発電することです。

太陽光パネルは裏面の温度が高まると発電効率が落ちてしまうという性質がありますが、池水により冷却することで、高効率の発電を可能とし、CO₂などの温室効果ガスの削減にも貢献します。

また、水上にパネルを設置する工法は、池底にアンカーを打ちワイヤーで固定する池底アンカー方式を採用しました。この工法は自然環境や景観を損なうことがないよう配慮しており、将来的な原状回復も容易です。また、施工時に近隣への騒音や振動が少ないのも、採用した理由の1つです。

フロート架台システム



このシステムにより、太陽光パネルの水上設置が可能となります。



メインフロート 第2フロート

池底アンカー方式

水位変動、景観に配慮し
池底アンカー方式を採用



パネルの設置方法は、池底にアンカーを打ち、ワイヤーで固定する「池底アンカー方式」を採用しました。自然環境や景観を損なうことなく、原状回復も容易で、施工時の騒音や振動が少ないのが特徴です。

地域貢献

～従業員と地域のために～

「たいよう保育所」開所

2015年12月、嵐山事業所の隣接地に「たいよう保育所」を開所しました。従業員の福利厚生向上が目的ですが、育児休業などで従業員が長く職場を離れる会社側のマイナス面も解消することができます。

事業所のすぐそばで子どもたちが元気に過ごしている様子は、事業所全体に癒しや活力などの効果ももたらすものと期待しています。

また、地元の子どもたちもお預かりしており、地域に開かれた保育所を目指しています。



自然との触れ合いを大事に

一般的な企業内保育所は、建物内の一室に設置されることが多く、園庭が無いなど運動不足や自然に触れる機会が少ないことが心配されますが、たいよう保育所は自然豊かな環境となっています。年間を通じて地の利を生かした季節のイベントを行うほか、畑や里山づくり、椎茸の植菌や野菜の収穫などを予定しています。

また、建物の外壁や内装は地元の柔らかい木材を利用しており、木の温かみを感じられ、子どもたちが安心安全に遊ぶことができます。



種芋の植え付けの様子



木の温かみに包まれた室内

当期の事業概況

◆当期の概況

当社グループの関連市場である電子部品業界については、サーバー及び車載関連部材の需要が堅調に推移しましたが、スマートフォンの伸び悩みもあり、全体としては横ばいで推移しました。このような状況の下、為替が円安に推移した影響を主要因として、第70期の売上高は498億43百万円(前期比3.3%増)となりました。

製品分野別では、プリント配線板(以下PWB)用部材については、リジッド基板用部材の販売数量は前期を下回りましたが、高機能品の堅調な販売や為替が円安に推移した影響もあり売上高は前期を上回りました。この結果、PWB用部材の売上高は463億19百万円(同4.1%増)となりました。

フラットパネル・ディスプレイ(以下FPD)用部材については、プラズマディスプレイ・パネル(以下PDP)用部材の生産を終了したことにより売上高は前期を

下回りました。この結果、FPD用部材の売上高は2億92百万円(同85.2%減)となりました。

以上の結果、営業利益は109億64百万円(同18.5%増)、経常利益は111億29百万円(同16.8%増)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は77億96百万円(同16.9%増)となりました。

◆次期業績の見通し

次期の事業環境は、当社グループの関連市場である電子部品業界におきましては、サーバーや車載関連部材の需要は堅調に推移するものと見込んでおりますが、スマートフォンやタブレット型端末といった小型情報端末や、一般家電製品は低調に推移すると見通しております。

また、当社グループは海外売上高比率が高く、次期は円高の進行により業績に影響が生じると予測しております。

次期の連結業績予想

科 目	第70期の実績(百万円)	第71期の見通し(百万円)	増減率(%)
売 上 高	49,843	45,700 (51,200 ^{*2})	△8.3 (2.7 ^{*2})
経 常 利 益	11,129	7,800 (9,900 ^{*2})	△29.9 (△11.0 ^{*2})
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	7,796	5,500 (7,000 ^{*2})	△29.5 (△10.2 ^{*2})

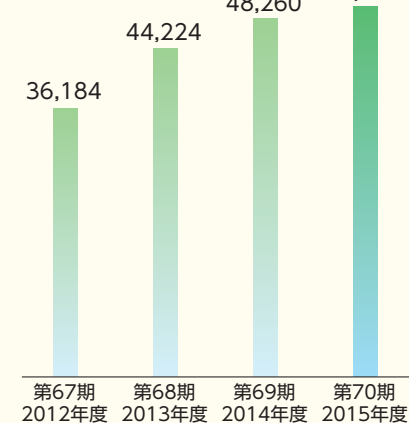
※1 第71期の見通しは、期中平均為替レートを1ドル当たり105円として算定しています。

※2 ご参考までに、期中平均為替レートを第70期と同水準の1ドル当たり120円とした場合の第71期の見通しです。

連結指標ハイライト

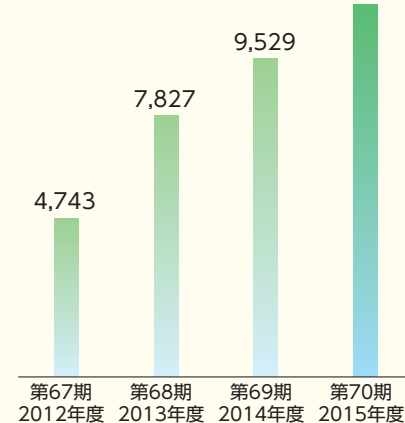
■売上高

(単位：百万円)



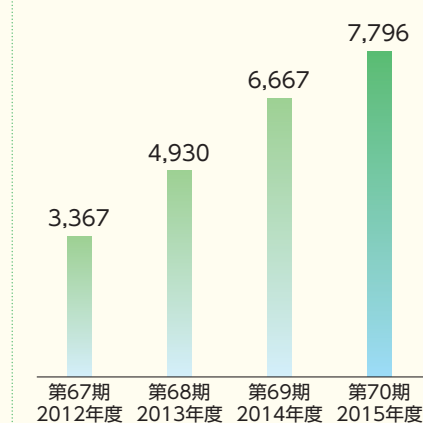
■経常利益

(単位：百万円)



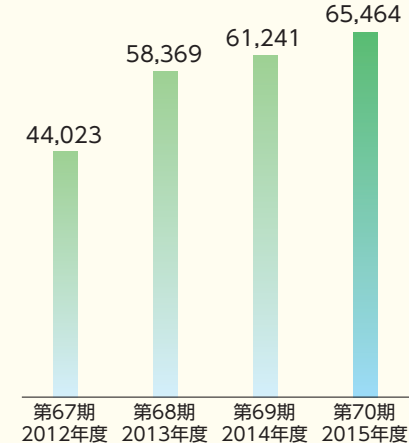
■親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



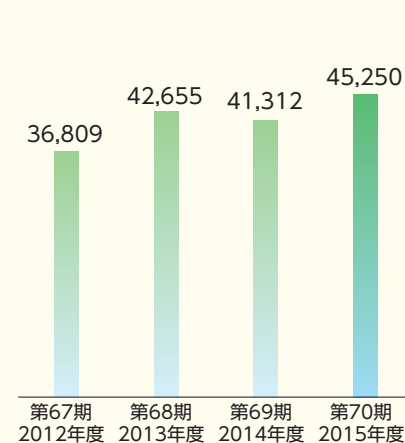
■総資産

(単位：百万円)



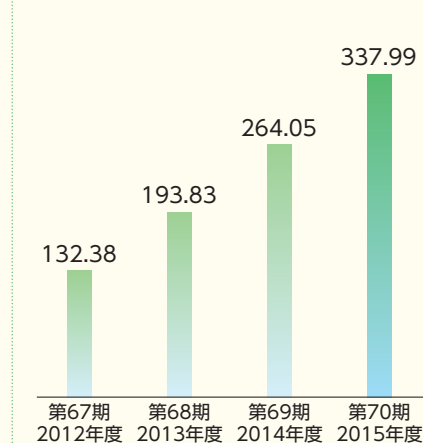
■純資産

(単位：百万円)

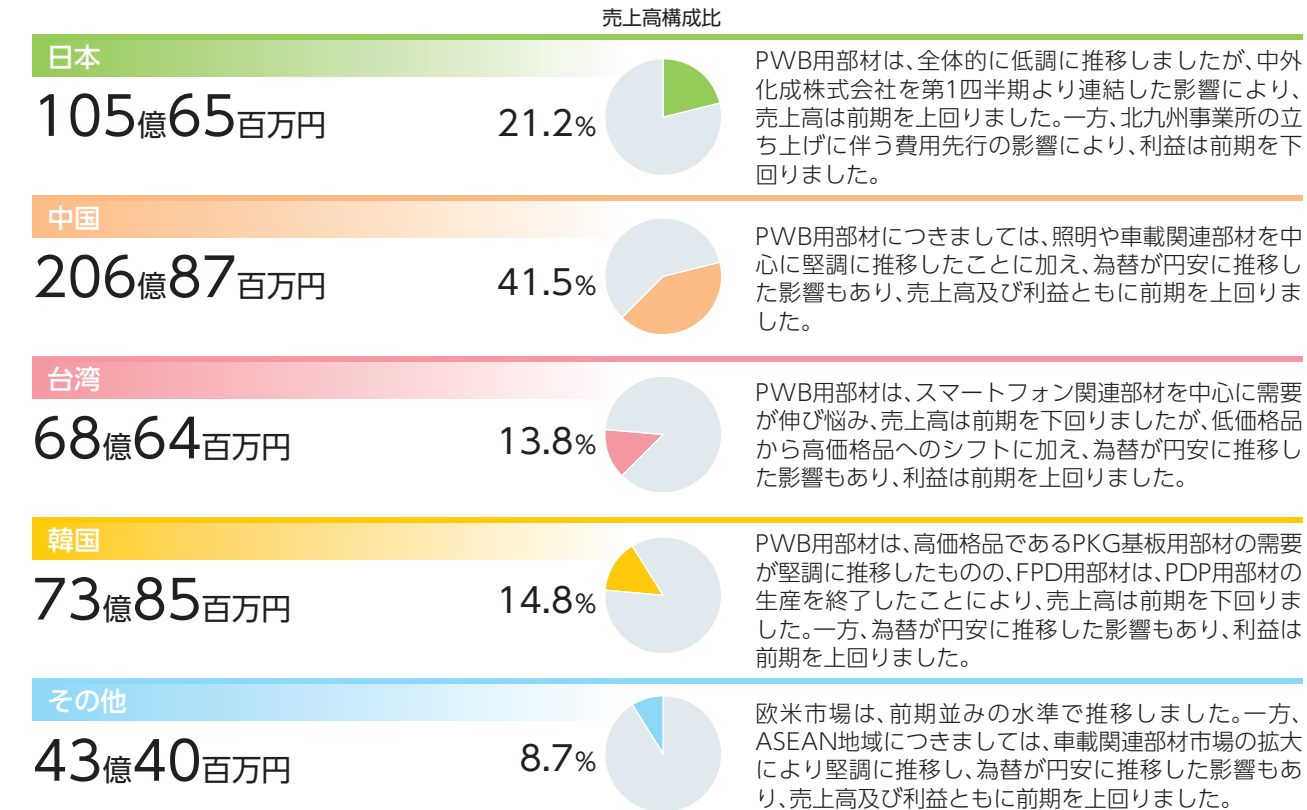


■1株当たりの当期純利益

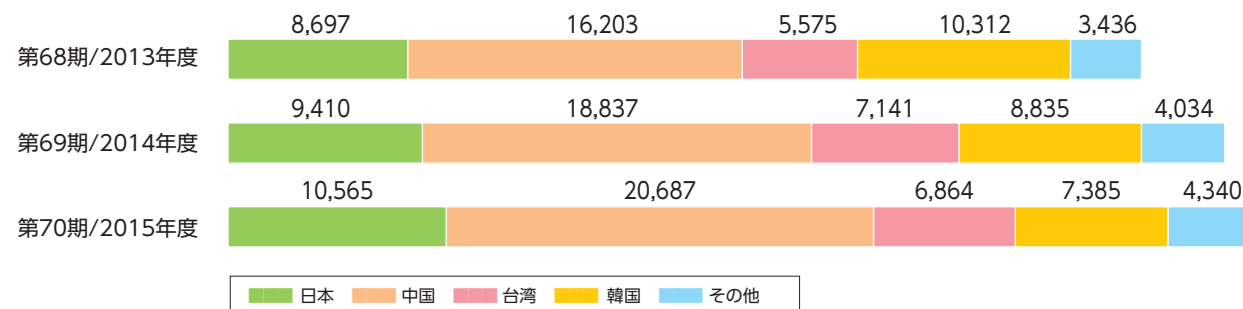
(単位：円)



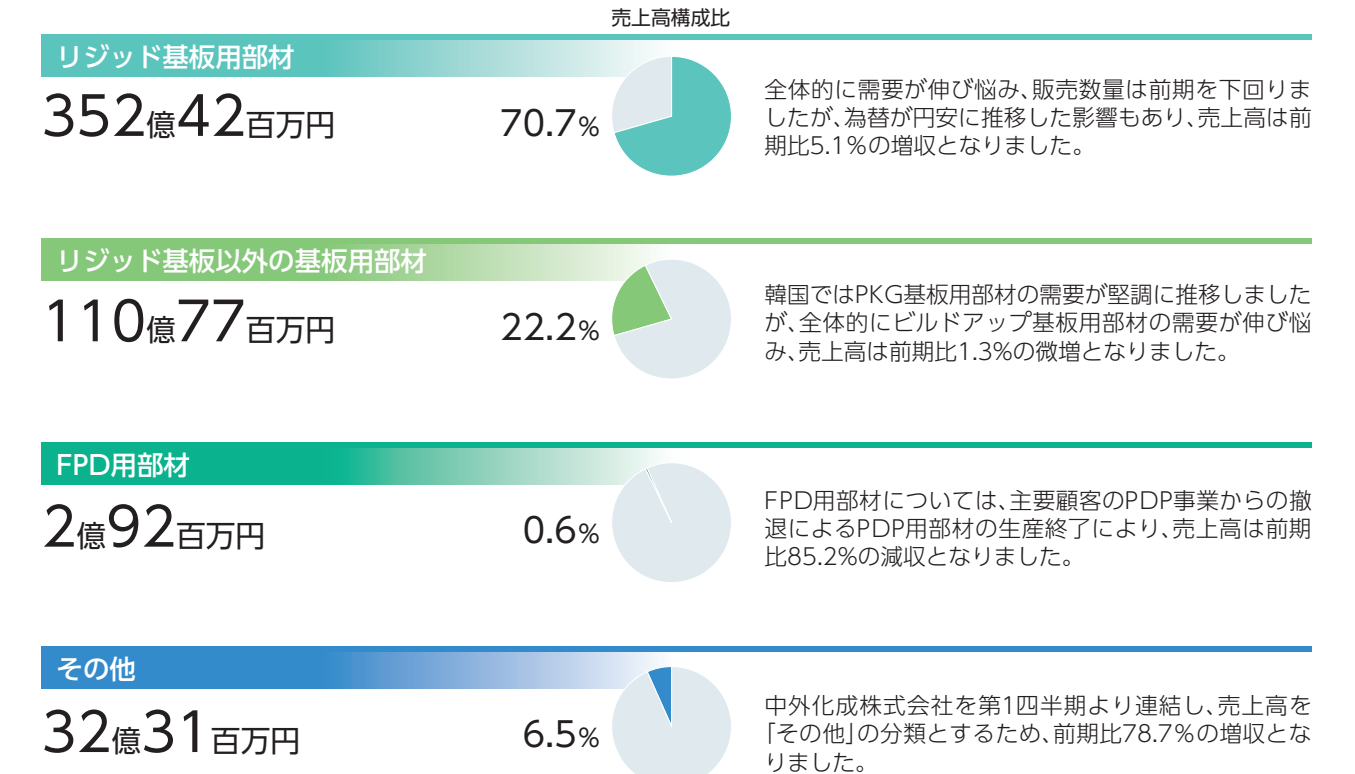
セグメント別売上高の概要



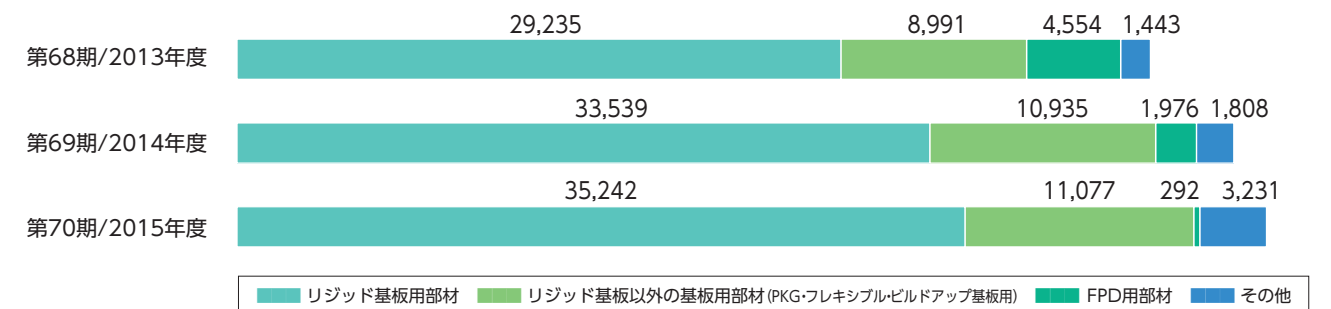
セグメント別売上高推移(連結) (単位:百万円)



製商品品目別売上高の概要



製商品品目別売上高推移(連結) (単位:百万円)



連結決算概要

連結貸借対照表(要旨)

科 目	当連結会計年度末 (平成28年3月31日現在)	前連結会計年度末 (平成27年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	39,340	37,942
現金及び預金	21,408	19,766
受取手形及び売掛金	12,836	13,111
たな卸資産	4,017	4,526
その他	1,417	878
貸倒引当金	△339	△341
固定資産	26,124	23,298
有形固定資産	19,644	16,865
1 建物及び構築物	10,523	8,014
機械装置及び運搬具	2,764	1,970
土地	4,616	4,342
その他	1,738	2,538
無形固定資産	4,919	5,327
投資その他の資産	1,561	1,106
投資有価証券・ 関係会社株式・ 関係会社出資金	696	401
その他	866	706
貸倒引当金	△1	△1
資産合計	65,464	61,241

Point 1 建物及び構築物

太陽インキ製造株式会社の新工場である北九州事業所への設備投資などにより、建物及び構築物が約25億円増加しました。

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度末 (平成28年3月31日現在)	前連結会計年度末 (平成27年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	10,898	11,056
支払手形及び買掛金	5,765	5,661
賞与引当金	398	384
その他	4,735	5,010
固定負債	9,315	8,872
長期借入金	7,413	7,685
退職給付に係る負債	116	—
その他	1,785	1,186
負債合計	20,214	19,929
純資産の部		
株主資本	41,841	35,676
資本金	6,188	6,134
資本剰余金	7,304	7,143
利益剰余金	42,490	36,997
自己株式	△14,141	△14,598
その他の包括利益累計額	1,274	3,396
その他有価証券評価差額金	96	110
為替換算調整勘定	1,190	3,332
退職給付に係る調整累計額	△12	△46
非支配株主持分	2,135	2,238
純資産合計	45,250	41,312
負債・純資産合計	65,464	61,241

Point 2 営業利益

高機能品の堅調な販売や原価率の改善及び為替が円安に推移した影響などにより、営業利益が約17億円増益となりました。

連結損益計算書(要旨)

科 目	当連結会計年度 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)
売上高	49,843	48,260
売上原価	27,355	28,865
売上総利益	22,487	19,394
販売費及び一般管理費	11,522	10,139
2 営業利益	10,964	9,254
営業外収益	265	376
営業外費用	100	101
経常利益	11,129	9,529
特別利益	40	406
特別損失	32	15
税金等調整前当期純利益	11,137	9,920
法人税、住民税及び事業税	2,855	2,670
法人税等調整額	153	277
当期純利益	8,128	6,972
非支配株主に帰属する当期純利益	331	305
親会社株主に帰属する当期純利益	7,796	6,667

連結株主資本等変動計算書(要旨) (平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

	株主資本					その他の 包括利益 累計額合計	非支配 株主持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計			
平成27年4月1日残高	6,134	7,143	36,997	△14,598	35,676	3,396	2,238	41,312
当期変動額								
剰余金の配当			△2,303		△2,303			△2,303
親会社株主に帰属する当期純利益			7,796		7,796			7,796
新株の発行	53	53			106			106
自己株式の取得				△0	△0			△0
自己株式の処分		107		457	565			565
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△2,122	△103	△2,225
当期変動額合計	53	160	5,493	456	6,164	△2,122	△103	3,938
平成28年3月31日残高	6,188	7,304	42,490	△14,141	41,841	1,274	2,135	45,250

会社概要 (平成28年3月31日現在)

商号 太陽ホールディングス株式会社
 英文表記 TAIYO HOLDINGS CO., LTD.
 設立 昭和28年9月29日
 資本金 61億8,820万円
 事業の内容 持株会社、グループ全体の経営方針策定および経営管理
 事業所 本社：東京都練馬区羽沢二丁目7番1号
 嵐山事業所：埼玉県比企郡嵐山町大字大蔵388番地
 従業員 80名

(注) 上記従業員数の中には他社からの出向社員を含んでおり、関係会社への出向社員は含んでおりません。

役員 (平成28年6月21日現在)

代表取締役社長	佐藤英志
取締役	森田孝行
取締役	竹原栄治
取締役	齋藤 齊
取締役	三輪 崇夫
社外取締役	樋爪 昌之
社外取締役	岩城 慶太郎
社外監査役	堺 昭人
監査役	吉本 陽臣
社外監査役	遠藤 輝好

太陽ホールディングスグループ グローバルネットワーク



株式の状況 (平成28年3月31日現在)

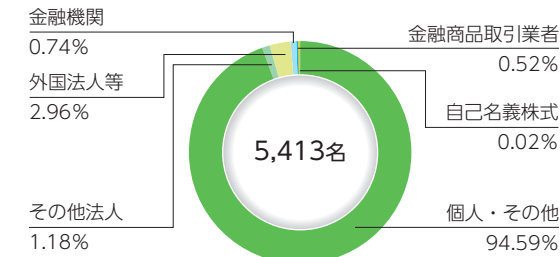
発行可能株式総数 50,200,000株
 普通株式 50,000,000株
 第1回A種種類株式 100,000株
 第2回A種種類株式 100,000株
 発行済株式の総数 27,485,600株
 普通株式 27,464,000株
 第1回A種種類株式 21,600株
 第2回A種種類株式 1株
 単元株式数 100株

大株主

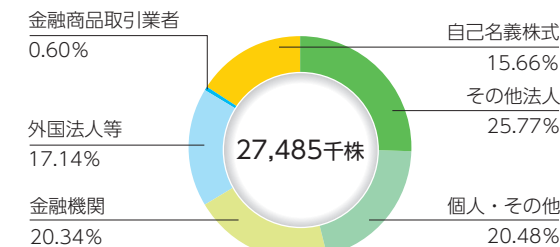
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社光和	5,233	19.04
太陽ホールディングス株式会社*	4,304	15.66
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	1,116	4.06
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	934	3.40
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	900	3.27
四国化成工業株式会社	631	2.29
MISAKI ENGAGEMENT MASTER FUND	604	2.19
東新油脂株式会社	538	1.95
JP MORGAN CHASE BANK 385632	510	1.85
川原光雄	500	1.81

*日本マスタートラスト信託銀行株式会社(株式付与ESOP信託口)が所有する当社株式74,390株を含んでおりません。

所有者別株主数の構成比



所有者別所有株式数の構成比



Web Site Information

<http://www.taiyo-hd.co.jp>

ウェブサイトのご案内

当社では、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報開示を行っています。

当社をご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてみてください。

